

一般社団法人 日本リモートセンシング学会
平成 28 年度 リモートセンシング実利用シンポジウム
「リモートセンシングの新たな実利用に向けて」

2017.2.2 版

平成 28～32 年度の第 5 期基本計画では、“国内外の課題が増大、複雑化する中で科学技術イノベーション推進の必要性が増している”との認識のもと、“非連続なイノベーションを生み出す研究開発を強化し、新しい価値やサービスが次々と創出される「超スマート社会」を世界に先駆けて実現するための一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進する”ことが謳われている。

「超スマート社会」では、“サイバー空間の活用等を、もの作り等の産業分野のみならず、社会の様々な分野に広げ、人々に豊かさをもたらす”ことが実現されるとされている。リモートセンシングは、この「超スマート社会」のサービスプラットフォームにおいては、物理空間の情報をサイバー空間に渡すセンサ群の一環と考えることができる。リモートセンシングがもたらす情報は従来より環境・エネルギー・食糧・災害など地球規模課題の解決に貢献して来たが、AI や IoT など急速に進歩しつつある IT 技術との連携により、今後様々な新たな分野における利用が生み出されると期待される。本シンポジウムでは、リモートセンシングの新たな実利用の可能性を示すとともに、それを推進するための日本リモートセンシング学会の取り組みを紹介する。

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）13 時 30 分～16 時 50 分

会場：東京大学 山上会館（文京区本郷 7-3-1）

主催：（一社）日本リモートセンシング学会

プログラム （敬称略）

1. 開会の挨拶

副会長/実利用委員長 福田 徹…………… 【13:30-13:35】

2. 基調講演

□ 宇宙産業ビジョンの検討について（リモセン利用を中心に）

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 参事官 高見 牧人…………… 【13:35-14:15】

3. 特別講演その 1

□ 観光分野における最新動向とリモートセンシングへの期待

はこだて未来大学 松原仁教授…………… 【14:15-14:45】

～休憩～

【14:45-15:00】

4. 特別講演その 2

□ AI を活用したスマート都市監視ソリューション

富士通株式会社 TC フロンティアセンター長 有山俊朗…………… 【15:00-15:25】

□ 公衆衛生分野でのリモートセンシング利用（仮）

東京大学大学院医学系研究科 渡辺知保教授…………… 【15:25-15:50】

5. 日本リモートセンシング学会の取り組み

□ 産官学連携委員会の取り組み

産官学連携委員長 青木尋子…………… 【15:50-16:10】

□ リモセンデータへの期待

情報サービス産業協会（JISA）副会長 島田俊夫…………… 【16:10-16:20】

□ JAXA の産業振興への取り組み

JAXA 新事業促進部 部長 松浦直人…………… 【16:20-16:40】

6. 総括と閉会の挨拶

副会長/実利用委員長 福田 徹…………… 【16:40-16:50】

以上